



2017 年 ドリームごよみ 12月

高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム

2017 年 12 月 14 日発行



2017 年 11 月のご報告



第 33 回ドリームサロン 11 月 23 日 (祝・木)

講演：「事例に学ぶ高次脳機能障害のある方への支援」 ～病歴や画像、心理検査の実例から～

(参加者 50 名:お客様 9 名、トレイニー 18 名、家族・ボランティア 14 名、職員 9 名)

多くのトレイニーが日頃からお世話になっている、東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科の渡邊修先生のご講演でした。会場のトレイニーとの軽妙なやり取りを交え和気あいあいとした雰囲気の中、高次脳機能障害の症状や原因疾患の話などをとても分かりやすくお話いただきました。中でも『病状は必ず良くなっていく』『その回復の方向を決めるのがリハビリで、気持ちを込めて支援することが大切』という先生からのメッセージは皆の心に響きました。



アンケートおよびサロン感想会より

- * 脳の損傷部分によって障害が変わるらしいとあらためて分かった。(しんやさん)
- * 先生が言っていることがみんな当てはまった。(まこちゃん)
- * 家に帰ってもう一度資料を読みたい。(ジョニー)
- * 司会を担当したのでいっぱい練習したり緊張したが、終わったら楽しかった。(コーンさん)
- * 今まで分からなかったことが短時間でもすっきりと整理できた気がします。(ボランティア)
- * 構造化の大切さを知った。成功体験を増やしてやりたいがつつい指摘してしまう。(家族)
- * 本人を今後どのような環境に置く必要があるのか知りたかったので参考になりました。ポジティブに！外とのつながりが大切！とよく分かりました。(家族)
- * 皆さんそれぞれ問題を抱える中生き生きとされていたので、本人も今の病状の中でも自分らしく生きていてもらえたらと思いました。(外部家族)



福祉まつり 12月2日(土)

(参加者：トレイニー 21名、家族・ボランティア10名、職員9名)

寒い中、調布市役所前は色々な団体の出す食べ物、物品のお店で賑わいました。ドリームは、生活訓練が、おしるこ販売を担当し完売しました。また就労継続Bが担当した物品販売も良く売れました。ステージ発表では「ふるさと」「みんながみんな英雄」を精一杯歌いました。家族会も別ブースで参加し、休む間もなくお客さんが来店し、ホットドッグとコーヒーが完売でした。



トレイニーの感想



- *お客さんが多くて楽しかった。(ごーさん)
- *いっぱいお客さんが来てうれしかった。発表も緊張したが、しっかり出来て良かった。(真左)
- *体験発表は噛んでしまったけどドリームサロンなどで司会を経験していたので乗り切れました。(コーンさん)
- *おしるこが完売して良かった。(ジョニー)
- *いろいろ参加できて楽しかった。(みっちゃん)



調布ドリーム家族会

調布ドリームの家族会は、福祉まつりでホットドッグとコーヒーを売るテントを出すなど、とても活発に活動していますのでご紹介します。

定例家族会

奇数月：第3日曜日 1時～3時 ドリームにて
偶数月：第3土曜日 1時～3時 飛田給ふれあいの家にて

家族会について【のぶちゃん/家族会会長】



家族会の日はいつも賑やか。2時間では収まりきらない。話したい事、聞いてもらいたい事が山ほどあるのだ。ここでしか、この仲間には、話せない話を山ほど持ち寄っての月イチの定例会。

先輩家族の話は心に沁みる。うなずける事もたくさんある。当事者の受傷、発症時期も家族の立場も障害の程度もみんな違うけれど、この仲間に話すとホッとしたり、ちょっぴり気持ちも軽くなる。

ケーキ教室をやったり、フリマに出たり、福祉まつりでお店を出したり、来年には旅行の計画もある。仲間と一緒に楽しめる事をもっともっと増やしていきたい。

当事者を支える毎日。

悲しみや苦しみもたくさんあるけれど、仲間がいることで乗り越えられる事もある。普通に生活していたら絶対に出会えなかった大切な仲間。1人で抱



え込まずに、みんなで少しずつその思いを共有し合え前に進んでいけたら幸せ。それだけですべてが温かいこと。それが出来れば、これまでの自分よりもっと豊かな未来がきっとあると信じたい。

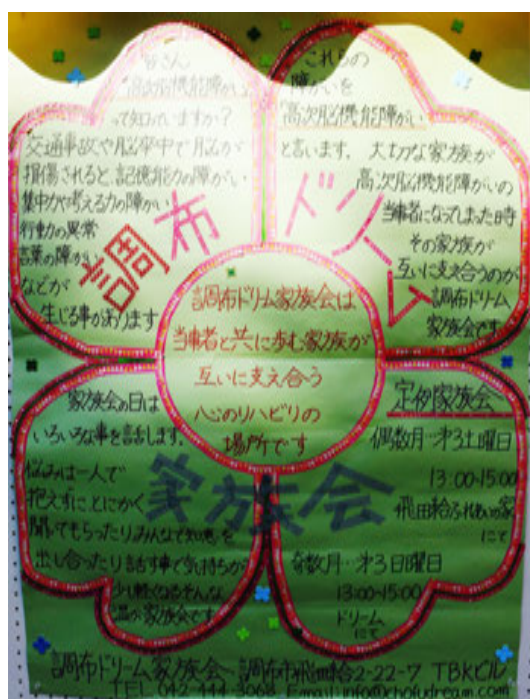
心を繋げて、そして支え合う。それが私たちの家族会です。

当事者の回復につながる家族会【あみちゃん / 家族】

夫が発症してから調布ドリームに出会うまで数年かかりましたが、家族も一緒に参加させて頂き、張り詰めた気持ちが楽になったことを思い出します。悩んだ時、困った時に話を聞いてくれる仲間がいるということで孤独を感じる事が減りました。また、先輩方の高次脳機能障害という見えない障害への対応やアドバイスは、大変参考になっています。

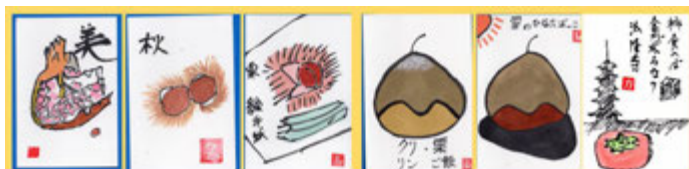
家族会定例会の他、ケーキ作り、福祉まつり、フリーマーケット、ドリームの旅行やクリスマス会の参加など行事があり、楽しいです。

大変な生活の中でも介護者が笑っているということは、当事者も笑顔が増えてくると感じます。家族会は、当事者の回復につながっているように思います。



絵手紙 (栗・ザクロ・柿)

※素材は地域の方から、ご寄附いただきました。



絵手紙作品① 2017.10.14



絵手紙作品② 2017.10.14



◆ご見学・ご来所など◆ 11月1日(水):ドリームのクリスマス会コンサートの打ち合わせのため、Ottoeuta (音絵うた)のお二人来所。11日(土):支援者会議のためドルチェ職員来所。

◆ご寄付よろしくお願いします◆ ご寄付の振込先 郵便局 00180-9-651828 「調布ドリーム」

※通信欄に「寄付」と明記の上、ご氏名、ご住所、お電話番号をご記入ください。追って領収書を送らせていただきます。またドリームごよみにお名前を掲載させて頂きますので、匿名ご希望の方は、その旨も通信欄にご記入をお願い申し上げます。

◆東京都の高次脳機能障害専用電話のご紹介◆

・東京都心身障害者福祉センター 電話 03-3235-2955 FAX 03-3235-2957

月～金曜日 9時～12時、13時～16時(祝日・年末年始を除く)

・とうきょう高次脳機能障害インフォメーション <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shinsho/kojino/index.html>

12月の予定 (都合により変更もあります) ボランティア募集中

<生活訓練>

※調布ドリームの冬休みは 12/28 (木) ~ 1/3 (水) です。

日	月	火	水	木	金	土
		火曜日～土曜日：10時～15時 10時：ラジオ体操	MT：ミーティングの略 SST：社会生活技能訓練		1 福祉まつりMT 卓球	2 福祉まつり
3	4	5 SST 料理 MT	6 囲碁教室 体操 / 音楽	7 パソコン 午後休み	8 当事者会準備 卓球	9 絵手紙 料理合同 MT
10	11	12 認知リハ 運営委員会	13 編物教室 体操 / 音楽	14 パソコン ゲーム	15 新聞アート 体操	16 絵を描こう 当事者会
17	18	19 料理 MT 書道教室	20 脳トレ 体操 / 音楽	21 囲碁教室 パソコン	22 認知リハ 卓球	23 クリスマス会
24/ 31	25	26 大掃除 今年を振り返って	27 グッズメイク 体操 / 音楽	28 振替休日 12/23 (土) 分	29	30

<就労継続支援 B 型>

日	月	火★	水★	木★	金★	土★
		★「夢市」は火曜日から土曜日まで 10時～15時開店 ただし、プログラムの都合上、午後は閉店となる日があります			1 福祉まつり準備 卓球	2 福祉まつり
3	4	5 販売&整備 受注作業	6 DDクッキー製造 S S T	7 受注作業 / MT 午後休み	8 販売&整備 卓球	9 絵手紙 / 販売品製作 料理合同 MT
10	11	12 販売&整備 運営委員会	13 DDクッキー製造 S S T	14 DDクッキー製造 受注作業 / MT	15 販売&整備 受注作業	16 絵を描こう / 販売 品製作 当事者会
17	18	19 販売&整備 受注作業	20 DDクッキー製造 S S T	21 DDクッキー製造 受注作業 / MT	22 販売&整備 卓球	23 クリスマス会
24/ 31	25	26 大掃除 今年を振り返って	27 DDクッキー製造 S S T	28 振替休日 12/23 (土) 分	29	30

調布ドリームご利用ガイド

- *活動日：週5日(火～土)10時～15時。 送迎なし。 昼食は各自持参。
- *生活訓練プログラム (定員 10 名)：卓球、音楽、認知リハ、パソコン、グッズメイク、ゲーム、絵手紙、編物、SST、絵画、新聞アート、書道、イイトコサガシ、料理、スポーツ吹矢、カラオケ、ジャズピアノ、映画鑑賞、囲碁 etc.
- *就労継続支援 B 型プログラム (定員 10 名)：『夢市』(犬用クッキーや自主作品の製造販売とリサイクル品等の販売)、パソコン・絵手紙・絵画などにおいて商品の開発、レクリエーション(卓球、カラオケ、映画鑑賞) etc.
- *共同プログラム：地域イベント参加、ドリームサロン開催、旅行
- *職員：<兼務>施設長 1 名、サービス管理責任者 1 名、事務員 1 名(非常勤) <生活訓練>支援員 4 名(常勤 2 名・非常勤 2 名) <就労継続支援 B 型>支援員 3 名(常勤 2 名・非常勤 1 名)、職業指導員 1 名(非常勤)
- *専門資格：作業療法士 1 名、社会福祉士 1 名
- *リハビリ講師：(卓球、編物、認知リハ、絵手紙、ゲーム、パソコン、絵を描こう、ジャズピアノ、新聞アート、吹矢、書道、囲碁)
- *ボランティア：一般ボランティア・家族ボランティアが、夢市・編物・卓球・料理などで活躍中。(ボランティア募集中)
- *ご利用には障害福祉サービス受給者証が必要です。(お住まいの各区市の障害福祉課に申請)
- *障害者手帳がなくても高次脳機能障害の医師の診断書がとれる方、また介護保険の第 2 号被保険者(40～65 才未満)の方でもご利用いただけます。
- *利用料は障害者総合支援法の規定に基づきます。所得により月額負担上限額があります。
- *随時ご相談を受け付けます。まずは見学にお出でください。不明な点は、その際にご相談ください。

編集後記 調布市の「武蔵野の森総合スポーツプラザ」が完成しましたね。来年から飛田給駅は賑やかになることでしょう。ぜひ私が出る卓球の試合もここでやってほしい！と願っていますが、無理かな～。密かに期待しています。(まさみ)

NPO法人高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム <http://www.chofudream.com>

(〒182-0036 調布市飛田給 2-22-7 TBKビル1階、京王線「飛田給」駅南口徒歩1分)

TEL/FAX: 042-444-3068

E-mail: info@chofudream.com

代表 吉岡千鶴子



調布ドリームでは、みんなが呼称を申告し、対等で打ち解けやすい呼び方を取り入れています